

自治協議会」

～2021年10月、2022年4月、10月に続く第4弾です～

問 総務課 ☎34-0001

★7/12各ブロック代表・事務局連絡会議から抜粋★

■ 町長から

「特に人口減少下において、自治会運営も非常に厳しくなり毎年の集落懇談会でも課題が見えてくる中でブロックとして課題解決ができる仕組みとして提案。2050神河将来ビジョンも策定したが30年後になっても元氣な神河町であり続けるために」との挨拶。

■ 7ブロックからの取組報告として

〈越知谷〉 ホームページ作成にも着手。安心、安全、交流の3部会全ての項目の取組が始まった。

ー トップランナーとして期待 ー

〈粟賀北〉 スムーズな引継ぎを目的に旧区長が役職になる3層構造とした。全項目をやろうとすれば課題が多くやり切れない、力が分散するといったところから初年度は安全安心に取り組む。

〈粟賀南〉 大まかな方向性を文言にする作業に入る。目下、河川中心の取組として他のことは次のステップで進める。

〈大山〉 住民チラシ第2報で取組概要と公募代議員8名の募集をかけている。応募がない場合は越知谷の例に倣い区からの声掛けも検討。生活、活性化、文化・交流、安全・安心の4部会で進める。

〈寺前〉 医療・買い物など暮らしの手助け対策、草刈り・放棄地・空き家空き土地等環境対策、地域伝統行事の継承・イベントなど賑わいづくりの3部会で検討協議。市川沿いの草刈り等は共通で出来るが、医療・買い物では新野駅、寺前駅で生活ルートの違いがある。

〈小田原〉 昨年1年かけて困り事や要望などを集め、今年からは副区長にも入ってもらい同区区長、副区長で1つの部会を担当。制度に少し問題があったということもあるが加筆修正を加えながら進めていく。実態アンケート集約もこれから大変。

〈長谷〉 9区課題事業の整理が完了し次は文言にしてい。町の補助メニューや既に予算内示もあり実際は地域づくり計画に上がるものがごくわずかに。小規模限界集落もあり、お助け隊を組織して草刈りや獣害柵維持補修などをカバーする。考える会との事業1本化までにはもう少し時間が必要。などの意見が出されました。

■ その他、町への要望として、区長負担軽減のための役場への配慮や役場全部署への自治協の取組周知、役場職員の相談窓口体制充実などについて意見が出されました。

■ また、兵庫県から地域振興課眞殿主幹に出席いただき「県として単独集落支援から集落で支え合う中での地域支援（多自然地域プロジェクト）にシフト、県としても引き続き参加し情報共有し持続可能な生活圏形成に取り組む。」とのお言葉をいただきました。

全7ブロックで事務局集落支援員が決まりました（敬称略）

ブロック	会 長	事務局集落支援員
越知谷	竹國 敏郎	高木 浩
粟賀北	森 明文	萩原 幸亮
粟賀南	廣納 正	山下 裕太
大 山	船田 穰	山里 佳世
寺 前	平岡 覺	山下 詔和
小田原	立岩 直樹	立岩 千咲
長 谷	大仲 正記	小林希世美 藤原登志幸



地域課題の解消、元気づくりに「地域

越知谷ブロックで活動開始、他の6ブロックで
6年度設立に向けて協議が進められています



▲4/24栗賀南ブロック準備会構成6区長として河川環境整備の取組に係る兵庫県および神河町への要望書の提出



▲越知谷ブロック 4/27神河町第1号「越知谷ブロック地域自治協議会」が設立(大畑コミュニティセンター)



▲栗賀北ブロック
6/13第13回協議会(栗賀の驛)



▲栗賀南ブロック 7/28第11回協議会
(「かみかわ移住定住サポートセンター」)



6/2大山、7/4栗賀南、寺前ブロック事務局▲
集落支援員に委嘱書交付が行われました



◀大山ブロック 6/17各種団体合同説明会(吉富集落センター)
3役協議会での取り組み経過、各区課題抽出とまちづくり計画、
規約・申し合わせ事項、準備会立上げに向けたスケジュール、
代議員の選出等について提案・協議が行われました



▲寺前ブロック
6/19第10回協議会(寺前地域交流館)



▲長谷ブロック
5/16第8回協議会(センター長谷)



▲小田原ブロック
7/24第13回協議会(高朝田農事集会所)